

日本銅学会誌「銅と銅合金」論文投稿要領

＜特別講演、テーマセッション依頼講演用＞

日本銅学会 編集委員会

2023年12月18日改訂

1. 投稿論文

- 1) 投稿論文は銅及び銅合金の製造、加工技術の向上およびその応用に寄与するもので、日本銅学会講演大会にて発表された論文とする。
- 2) 他の講演会や論文誌に掲載・発表した経緯のあるものは、内容の修正、追記等の変更点を加えたものであること、およびそれを明記した資料を添付する。
- 3) 投稿論文は、学会誌の発行とともにJ-Stageにも掲載される。

2. 投稿内容の区分及び分類

- 1) 特別講演、基調講演、招待講演、パネル講演 等、いずれかの区分を投稿原稿表紙の所定欄に記入する。

3. 著作権

- 1) 会誌に掲載された個々の論文の著作権（著作財産権）は、日本銅学会に帰属する。ただし、著者自身の利用は妨げない。
- 2) 著作者は当該論文の複写の行使に関わる権利を当学会に委託する。

4. 原稿の執筆

- 1) 原稿は、論文執筆要領に従って作成する。また、原則として和文とし、Microsoft Wordにより作成する。
- 2) 図・写真・表を含めた全体のページ数は、5ページ以内（25文字、53行、2段組相当）を原則とする。この限度を越えたものは、特別な理由がある場合を除き書き直しを求めることがある。
- 3) 図・写真・表等をカラーで作成した原稿も受け付ける。なお、発行される冊子体（印刷物）は、カラー原稿をそのまま白黒出力したものとなる。J-Stageにはカラーで掲載される。

5. 原稿の提出

- 1) 原稿の提出は、オンライン投稿システムを利用する。
- 2) 論文を投稿する者はメールにて投稿の意思を示し、追ってシステム管理者より送られてくる電子投稿システムのアドレスにアクセスし、原稿を指定場所にアップロードする。
- 3) 原稿の提出期限は、発表した講演大会の翌年3月末を原則とする。なお、特別に月日を指定された場合には、それを順守する。
- 4) 投稿にあたっては、必ず必要事項を記入した本学会指定の表紙（投稿原稿表紙）をつける。

6. 原稿の査読

- 1) 特別講演、基調講演、招待講演、パネル講演論文に関しても、原稿の査読を実施する。
- 2) 会誌の編集は編集委員会の責任において行うが、原稿内容の最終責任は著者自身が負う。

7. 原稿の校正について

- 1) 校正も、オンライン投稿システムを利用する。
- 2) 初校は印刷会社で行い、第二校は著者校正とする。第三校も印刷会社で行い、これをもって終了とする。

8. 論文賞

- 1) 特別講演、基調講演、招待講演、パネル講演論文は、日本銅学会論文賞の対象とはならない。

9. その他

- 1) 掲載料（論文投稿料）は無料とする。
- 2) 学会誌の発行は、投稿した年の8月1日となる。
- 3) 投稿論文の別刷りは、印刷会社に直接申し込む。
- 4) 学会誌の発行後2年以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、英訳した論文を（公社）日本金属学会の「**Materials Transactions**」に投稿できる。なお、「銅と銅合金」に掲載済み論文であることを、英文論文の脚注に明記する。当該誌の執筆要領については、（公社）日本金属学会のホームページを参照する。

以上